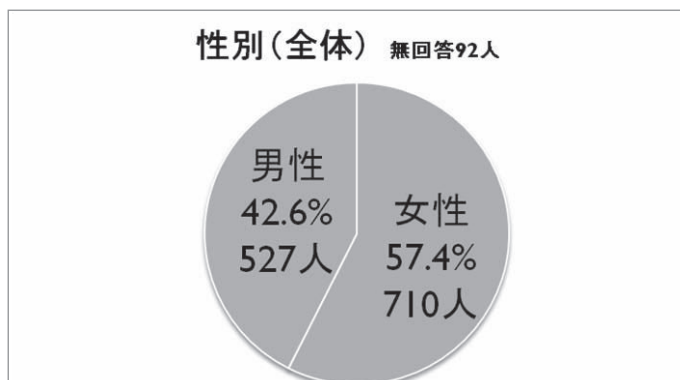


2. 回答者のプロフィール

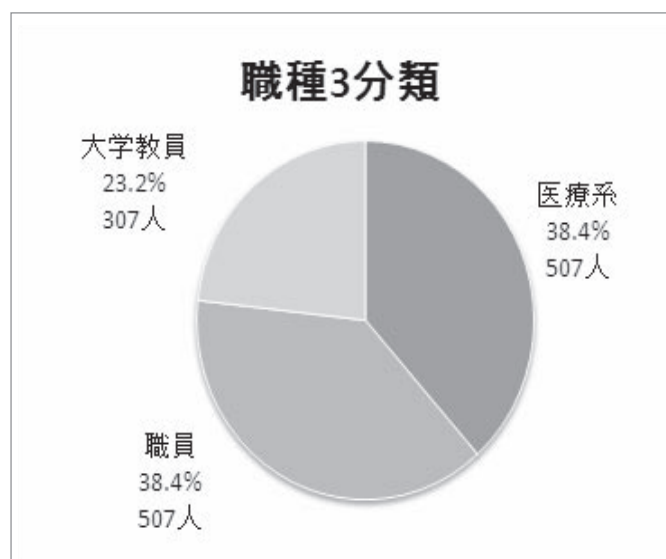
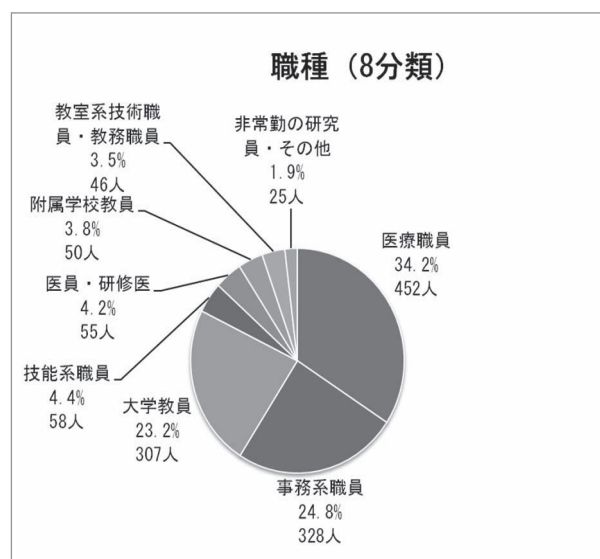
性別

問 16 では回答者の性別を聞いている。下図のように女性が 57.4% (710 人)、男性が 42.6% (527 人) となっており女性が多い。ただし、無回答の人も 92 人いたことに注意したい。



職種

問 3 では職種 (1 大学教員から 8 非常勤の研究者まで) を聞いている。8 つある職種の分布は左下図のようになり、看護師などを含む医療職員が最も多く 34.2% (452 人)、次に事務系職員 24.8% (328 人)、大学教員 23.2% (307 人) と続く。

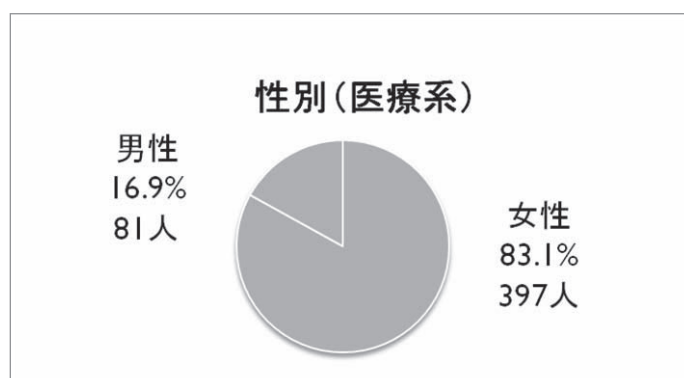


職種 8 分類ではカテゴリーが多く、複雑なので、便宜的に「大学教員」、「医療系」、「職員」の 3 分類にまとめたのが右上図である。「大学教員」は問 3 の職種 8 分類の大学教員そのままを指し、「医療系」は医療職員、医員・研修医をまとめた。また「職員」は「大学教員」と「医療系」以外の全ての職種をまとめたものである。具体的には事務系職員、技能系職員、附属学校教員、教室系技術職員・教務職員、非常勤の研究者・その他の人を「職員」としてまとめている。以下、単に職種という際には、基本的にこの 3 分類の職種を指すこととする。

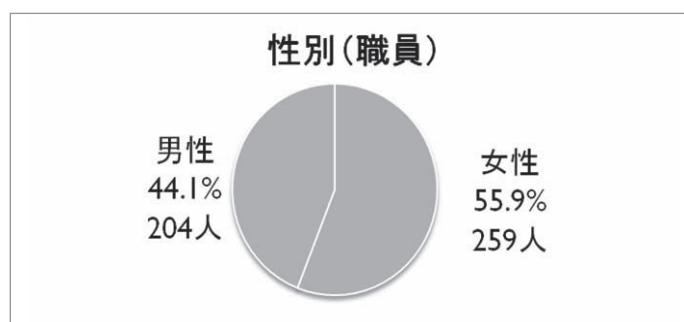
その結果、「医療系」が 38.4% (507 人)、「職員」が同じ人数で 38.4% (507 人)、「大学教員」が 23.2% (307 人) となっている。

性別と職種

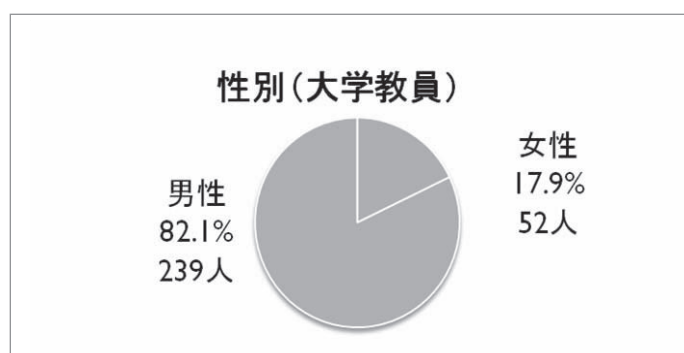
職種ごとに男女の人数をまとめたものが以下の3つの図である。医療系では女性が多く 83.1% (397人) であり、男性は 16.9% (81人) である。



また、職員でも女性が 55.9% (259人) と半数を超え、男性が 44.1% (204人) である。



一方、大学教員では女性は少なく、17.9% (52人) であり、男性が 82.1% (239人) と大半を占めている。参考として、アンケート実施時期と同月の平成 21 年 10 月 1 日現在の山形大学の在籍大学教員数は 825 人であり、女性は 110 人で 13.3% である (山形大学男女共同参画推進室 2009)。アンケートの回答者ではそれよりも若干、女性教員の割合が高くなっていることから、男性教員よりは女性教員の方が調査に協力的であったと考えられる。

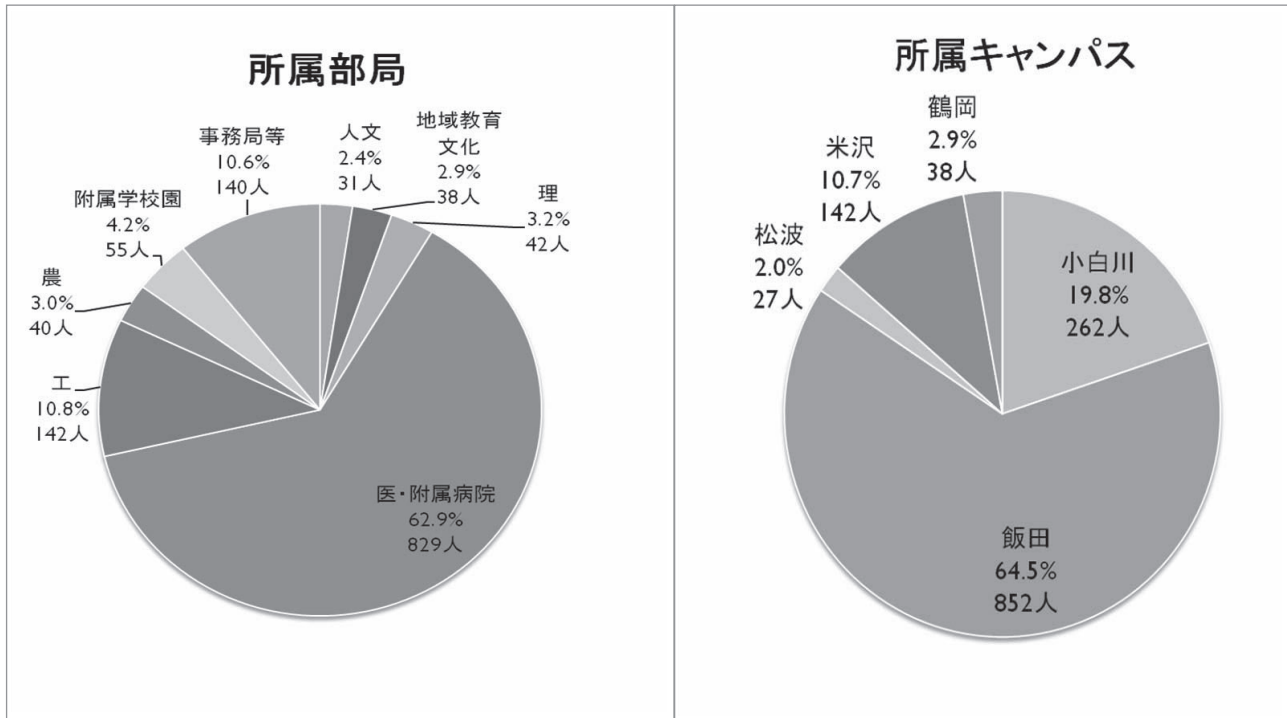


所属部局・キャンパス

問 1、2 では所属部局とキャンパスを聞いているが、所属部局は次の図のように、医学部・附属病院 (問 2 の項目 4) が最も多く、62.9% (829人) を占めている。その後、工学部 10.8% (142人)、事務局等 (問 2 の項目 9 事務局・小白川事務部等と 7 基盤教育院) が 10.6% (140人) となっている。このように医学部・附属病院の割合が高いが、その部局に在籍人数が多いことと、回収率も他の部局よりも高かったことを反映している。

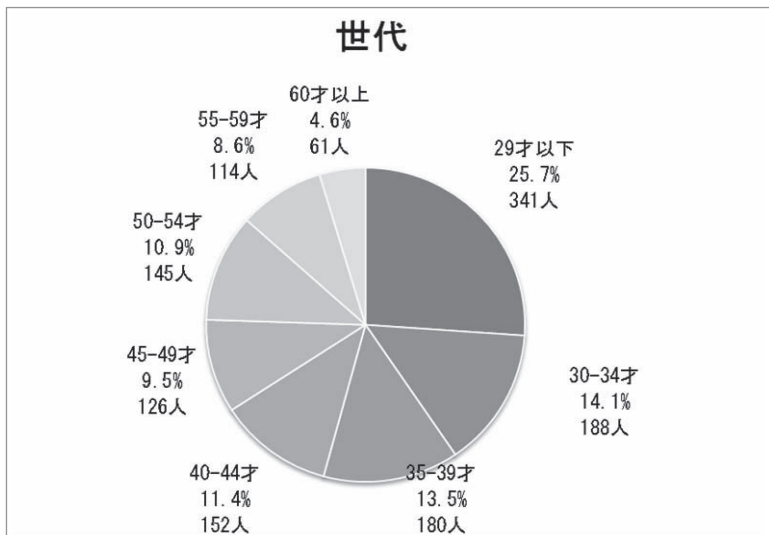
山形大学には、山形市に3つ、また米沢市に1つ、鶴岡市に1つという計5つのキャンパスがあり、キャンパスが分散している。山形市にある3つのキャンパスのうち小白川キャンパスには人文学部、地域教育文化学部、理学部、また事務局等がある。また飯田キャンパスには医学部、附属病院、附属特別支援学校等がある。松波キャンパスには附属幼稚園、小学校、中学校がある。米沢市の米沢キャンパスには、工学部等がある。鶴岡市の鶴岡キャンパスには農学部等がある。

所属部局と同じように、所属キャンパスでも医学部、附属病院がある飯田キャンパスが64.5%（852人）となっており、小白川キャンパスが19.8%（262人）、米沢キャンパスが10.7%（142人）、鶴岡キャンパスが2.9%（38人）、松波キャンパスが2.0%（27人）と続く。

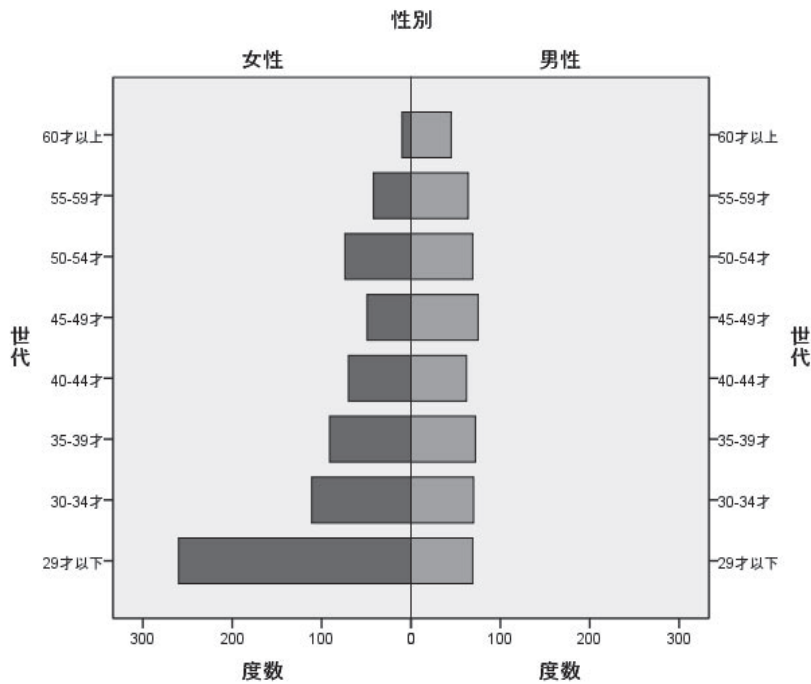


年齢構成

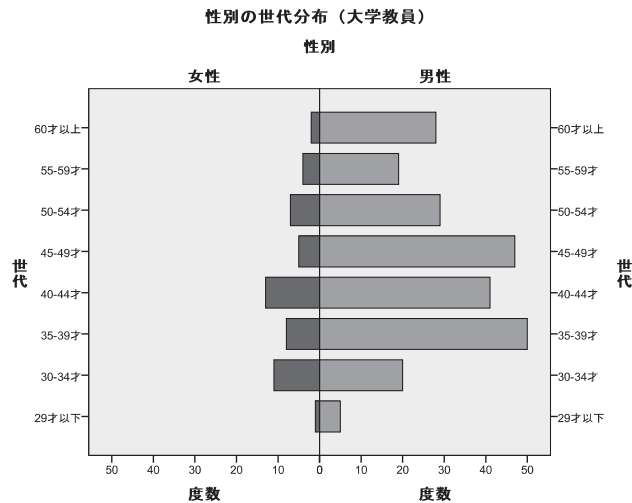
問16では5歳刻みで年齢を聞いている。回答者の世代をまとめた下図によると、20代から30代という若い世代が山形大学の大半を構成していることがわかる。



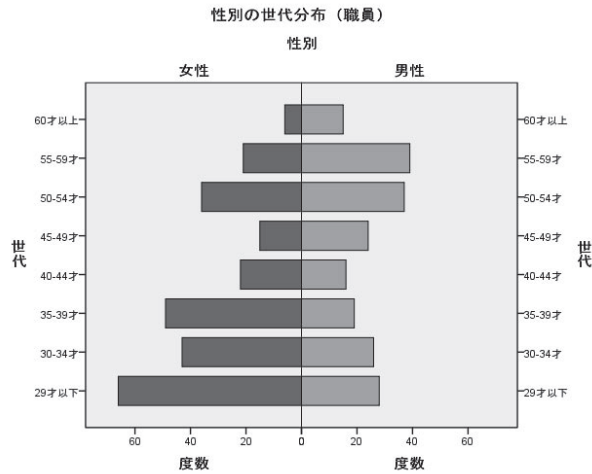
性別に世代をみると次の図のようになる。男性では全ての年代にほぼ均等にばらついているのに対し、女性では20代が非常に多く、また30代も比較的多いことがわかる。これは以下で述べるように、医療系の職員と、職員において若い世代の女性が多いことを反映している。



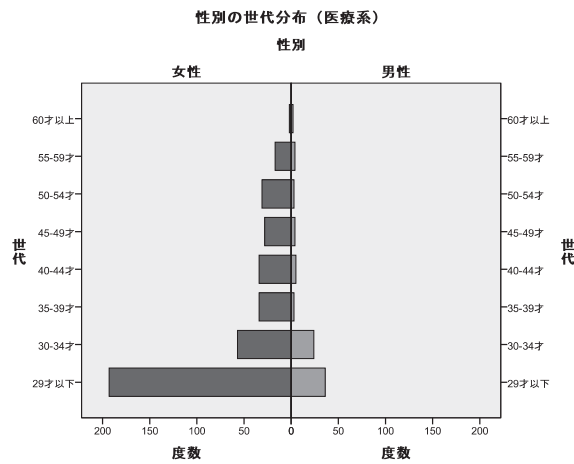
職種別にみると、大学教員では、どの世代においても男性が多い（以下の3つの図では職種によって度数（人数）の軸が違うことに注意してほしい）。



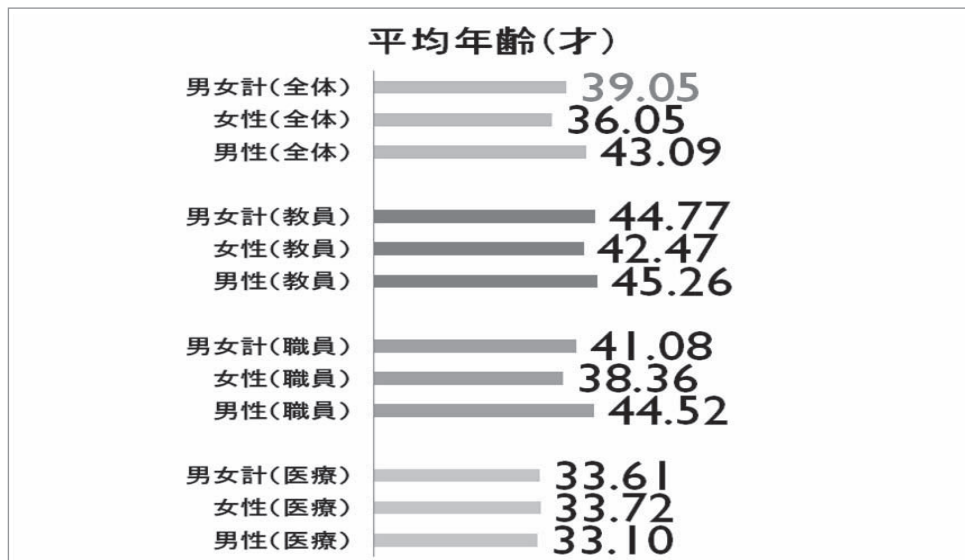
職員では、合計でも女性の方が男性よりも多いが、特に44才以下の若い世代では女性が多い。これらの世代は1985年（昭和60年）改正の男女雇用機会均等法以後の世代とほぼ一致する。一方で、45才以上の世代には比較的男性の職員が多い。



医療系の職員では、どの世代でも女性が大半を占めるが、特に 20 代の若い女性が非常に多い。



世代を年齢へ変換（29 才以下=25 才、30-34 才=32 才、35-39 才=37 才、40-44 才=42 才、45-49 才=47 才、50-54 才=52 才、55-59 才=57 才、60 才以上=60 才）し、職種別・性別に平均年齢を求めると以下の図のようになる。大学全体では平均年齢が 39.05 才となり、女性は 36.05 才、男性は 43.09 才である。



昨年度のアンケート回答の有無

山形大学男女共同参画推進室では、前身の山形大学男女共同参画推進準備室でも昨年度（平成 20 年）に同様のアンケート調査（山形大学男女共同参画推進準備室 2009）を行っているが、問 29 では、昨年度のアンケート回答の有無を聞いている。今年度の調査に回答した人のうち 49.9%（638 人）が昨年度のアンケート調査に回答していた。

